

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2004-538308(P2004-538308A)

【公表日】平成16年12月24日(2004.12.24)

【年通号数】公開・登録公報2004-050

【出願番号】特願2003-516533(P2003-516533)

【国際特許分類】

**A 6 1 K 31/665 (2006.01)**  
**A 6 1 K 8/55 (2006.01)**  
**A 6 1 K 8/58 (2006.01)**  
**A 6 1 K 8/67 (2006.01)**  
**A 6 1 K 8/00 (2006.01)**  
**A 6 1 Q 19/00 (2006.01)**  
**A 6 1 K 31/203 (2006.01)**  
**A 6 1 K 31/545 (2006.01)**  
**A 6 1 K 31/60 (2006.01)**  
**A 6 1 K 31/65 (2006.01)**  
**A 6 1 K 31/661 (2006.01)**  
**A 6 1 K 31/7048 (2006.01)**  
**A 6 1 K 31/7056 (2006.01)**  
**A 6 1 K 45/00 (2006.01)**  
**A 6 1 K 47/10 (2006.01)**  
**A 6 1 K 47/14 (2006.01)**  
**A 6 1 K 47/16 (2006.01)**  
**A 6 1 K 47/18 (2006.01)**  
**A 6 1 K 47/32 (2006.01)**  
**A 6 1 K 47/34 (2006.01)**  
**A 6 1 P 1/02 (2006.01)**  
**A 6 1 P 17/00 (2006.01)**  
**A 6 1 P 17/02 (2006.01)**  
**A 6 1 P 17/04 (2006.01)**  
**A 6 1 P 17/06 (2006.01)**  
**A 6 1 P 17/08 (2006.01)**  
**A 6 1 P 17/12 (2006.01)**  
**A 6 1 P 17/16 (2006.01)**  
**A 6 1 P 27/02 (2006.01)**

【F I】

**A 6 1 K 31/665**  
**A 6 1 K 7/00 E**  
**A 6 1 K 7/00 H**  
**A 6 1 K 7/48**  
**A 6 1 K 31/203**  
**A 6 1 K 31/545**  
**A 6 1 K 31/60**  
**A 6 1 K 31/65**  
**A 6 1 K 31/661**  
**A 6 1 K 31/7048**  
**A 6 1 K 31/7056**

A 6 1 K 45/00  
 A 6 1 K 47/10  
 A 6 1 K 47/14  
 A 6 1 K 47/16  
 A 6 1 K 47/18  
 A 6 1 K 47/32  
 A 6 1 K 47/34  
 A 6 1 P 1/02  
 A 6 1 P 17/00  
 A 6 1 P 17/00 1 0 1  
 A 6 1 P 17/02  
 A 6 1 P 17/04  
 A 6 1 P 17/06  
 A 6 1 P 17/08  
 A 6 1 P 17/12  
 A 6 1 P 17/16  
 A 6 1 P 27/02

【手続補正書】

【提出日】平成17年10月11日(2005.10.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

皮膚の症候を予防し、緩和し、又は皮膚の状態を処置するための化粧用又は医薬用組成物であって、有効な皮膚浸透量の、1又は複数の電子伝達剤の1又は複数のリン酸誘導体の1又は複数の錯体を含んで成る化粧用又は医薬用組成物。

【請求項2】

局所的に許容される担体を更に含んで成る、請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

皮膚の症候を予防し、緩和し、又は皮膚の恒常性の悪化、炎症、紅斑、創傷、火傷、日光感受性、ふけ、酒さ、皮膚炎、歯肉炎、日焼け、熱傷、乾癬、虫刺され、脂漏性皮膚炎、皮膚肥厚、角膜炎、湿疹、光による老化、皴、尋常性疣贅、足底疣贅、表皮層の肥厚及び色素沈着から成る群から選択される皮膚の状態を処置するために使用される場合の、請求項1に記載の組成物。

【請求項4】

有効な皮膚浸透量が全組成物の重量当たり0.01～30%である、請求項1に記載の組成物。

【請求項5】

有効な皮膚浸透量が全組成物の重量当たり1～15%である、請求項4に記載の組成物。

【請求項6】

有効な皮膚浸透量が全組成物の重量当たり1～3%である、請求項5に記載の組成物。

【請求項7】

1又は複数の電子伝達剤の1又は複数のリン酸誘導体の1又は複数の錯体における電子伝達剤が、鏡像体及びラセミ体のアルファ、ベータ及びガンマのトコール及びトコトリエノールを含むヒドロキシクロマン；ビタミンK1及びユビキノンの還元型のキノール；レチ

ノールを含むヒドロキシカロテノイド；カルシフェロール及びアスコルビン酸から成る群から選択される、請求項 1 に記載の組成物。

**【請求項 8】**

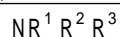
1 又は複数の電子伝達剤の 1 又は複数のリン酸誘導体の 1 又は複数の錯体における電子伝達剤が、トコフェリルホスフェート；アスコルビルホスフェート；P:トコフェリルP:アスコルビルホスフェートジエステル、トコトリエノールホスフェート；ユビキニルホスフェート、レチニルホスフェート；及びそれらの混合物、から成る群から選択される、請求項 7 に記載の組成物。

**【請求項 9】**

1 又は複数の電子伝達剤の 1 又は複数のリン酸誘導体の錯体が、

(a)アスコルビルホスフェート、レチニルホスフェート、トコフェリルホスフェート、トコトリエノールホスフェート及びP:トコフェリルP:アスコルビルホスフェートジエステル；ユビキニルホスフェート又はそれらの混合物から成る群から選択される電子伝達剤のリン酸塩と、

(b)アルギニン、ヒスタジン及び第三級置換アミン、例えば以下の式：



(ここで、R<sup>1</sup>はC6～C22の直鎖又は分枝鎖の混合アルキル遊離基及びそれらのカルボニル誘導体を含んで成る群から選択され；

R<sup>2</sup>及びR<sup>3</sup>は、H、CH<sub>2</sub>COOX、CH<sub>2</sub>CHOHCH<sub>2</sub>SO<sub>3</sub>X、CH<sub>2</sub>CHOHCH<sub>2</sub>OPO<sub>3</sub>X、CH<sub>2</sub>CH<sub>2</sub>COOX、CH<sub>2</sub>COOX、CH<sub>2</sub>CH<sub>2</sub>CHOHCH<sub>2</sub>SO<sub>3</sub>X又はCH<sub>2</sub>CH<sub>2</sub>CHOHCH<sub>2</sub>OPO<sub>3</sub>Xから成る群から独立して選択され、そしてXはH、Na、K又はアルカノールアミンであり、但しR<sup>2</sup>とR<sup>3</sup>は共にHであることはなく；そしてここで、R<sup>1</sup>がRCOである場合、R<sup>2</sup>はCH<sub>3</sub>であってもよく、且つR<sup>3</sup>は(CH<sub>2</sub>CH<sub>2</sub>)N(C<sub>2</sub>H<sub>4</sub>OH)-H<sub>2</sub>CH OPO<sub>3</sub>であってもよく、あるいはR<sup>2</sup>とR<sup>3</sup>は共にN(CH<sub>2</sub>)<sub>2</sub>N(C<sub>2</sub>H<sub>4</sub>OH)CH<sub>2</sub>COO-であってもよい)  
に従うものとの反応産物から成る群から選択される、請求項 1 に記載の組成物。

**【請求項 10】**

抗生物質、抗ヒスタミン剤、殺菌剤、抗菌剤、サリチル酸、ビタミンA誘導体、抗炎症剤、角質分解剤、日焼け止め、及びそれらの混合物から成る群から選択される少なくとも 1 つのほかの活性成分を更に含んで成る、請求項 1 に記載の組成物。

**【請求項 11】**

抗生物質が、エリスロマイシン、リンコマイシンファミリー、セファロsporin、テトラサイクリンファミリー、及びそれらの組み合わせから成る群から選択され、且つ全組成物の重量当たり 0.01～5.0%の量で存在する、請求項 10 に記載の組成物。

**【請求項 12】**

(a)全組成物の重量当たり 1～10%のラウリルイミノジプロピオン酸トコフェリルホスフェート；

(b)全組成物の重量当たり 0.1～10%のCarbomer Ultez 3%；

(c)全組成物の重量当たり 0.1～10%のトリエタノールアミン；

(d)任意の着色剤及び防腐剤；並びに

(e)全組成物のバランス用の水、

を含んで成る、請求項 1 に記載の組成物。

**【請求項 13】**

約 3% (w/w)のラウリルイミノジプロピオン酸トコフェリルホスフェートを含んで成る、請求項 12 に記載の組成物。

**【請求項 14】**

(a)全組成物の重量当たり 0.1～10%のラウリルイミノジプロピオン酸トコフェリルホスフェート；

(b)全組成物の重量当たり 0.1～10%のグリセリン；

(c)全組成物の重量当たり 0.01～5%のEDTA三ナトリウム；

(d)全組成物の重量当たり 0.01～5%のカルボマー(Carbopol Ultez 10)；

(e)全組成物の重量当たり 0.1～10%のセテアリルアルコール(及び)Ceteareth-20(

Phoenoxol T) ;

(f)全組成物の重量当たり0.1~5%のグリセリルステアレート ;

(g)全組成物の重量当たり0.1~10%のイソプロピルミリステート ;

(h)全組成物の重量当たり0.1~10%のセチルエチルヘキサノエート ;

(i)全組成物の重量当たり0.1~10%のイソセチルベヘナート ;

(j)全組成物の重量当たり0.1~10%のオレイルエルカート(oleyl erucate) ;

(k)全組成物の重量当たり0.01~5%のジメチコン ;

(l)全組成物の重量当たり0.01~5%のトリエタノールアミン ;

(m)全組成物の重量当たり0.1~10%のプロピレングリコール、ジアゾリジニルウレア、メチルパラベン、及びプロピルパラベン(Germaben II) ;並びに

(n)全組成物のバランス用の水、  
を含んで成る、請求項3に記載の組成物。

**【請求項15】**

対象者の皮膚の症候を予防し、緩和し、又は皮膚の状態を処置するための薬剤の製造における、有効な皮膚浸透量の、1又は複数の電子伝達剤の1又は複数のリン酸誘導体の1又は複数の錯体と、局所的に許容される担体の使用。

**【請求項16】**

皮膚の症候を予防し、緩和し、又は皮膚の状態を処置するための化粧用又は医薬用局所組成物であって、有効な皮膚浸透量の、1又は複数の電子伝達剤の1又は複数のリン酸誘導体を含んで成る化粧用又は医薬用局所組成物。

**【請求項17】**

局所的に許容される担体を更に含んで成る、請求項16に記載の組成物。

**【請求項18】**

1又は複数の電子伝達剤の前記リン酸誘導体が、トコフェリルホスフェート ; アスコルビルホスフェート ; P:トコフェリルP:アスコルビルホスフェートジエステル、ユビキニルホスフェート ; レチニルホスフェート ; 及びそれらの混合物、から成る群から選択される、請求項16に記載の組成物。

**【請求項19】**

1又は複数の電子伝達剤の前記リン酸誘導体が、トコフェリルホスフェートのアルキルアミンホスファチジル誘導体である、請求項16に記載の組成物。

**【請求項20】**

対象者の皮膚の症候を予防し、緩和し、又は皮膚の状態を処置するための薬剤の製造における、有効な皮膚浸透量の、1又は複数の電子伝達剤の1又は複数のリン酸誘導体と、局所的に許容される担体との使用。